
霧ノ宮学園へようこそ！

トライスター

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧ノ宮学園へようこそ！

【Nコード】

N5917C

【作者名】

トライスター

【あらすじ】

家族の都合で藤ヶ崎市に引っ越してきた主人公。転校することになった「霧ノ宮学園」は去年まで女子校で、しかも現在男子は誰もいない！？女子校だった高校に転校することになった初めての男子生徒、久遠優くんの物語です。

第1話 知らぬが仏

「ほら見て、優。海が見えるわ。」

「え？あ、本当だ。……そういえば俺、海って初めてじゃない？母さん。」

「うーん……。そういえばそうだったわね。」

K県藤ヶ崎市。

K県南部の海に面する風光明媚な観光地。温暖で、いわゆる「湖南」地域として県外でも有名である。

海産物がよく獲れ、たたみいわしは名産品の一つ。

8月半ば、その藤ヶ崎市に引っ越してきた彼の名前は久遠優^{くおん ゆう}。高校2年生の17歳。

小柄で細身。フランス人のクォーターなので、瞳が青色をしている。中学時代は随分と女子から人気があったが、本人が恐ろしくその点に関しては鈍かったので、自分が「モテる」という自覚が全く無いある意味かわいそうな男である。

そんな優が転入する高校は市内にある私立霧ノ宮学園。自由な校風で有名だそうだが、優はそんなこと別にどうでもよかった。

実はこの高校には一般の編入試験のほか、いわゆる「一芸編入」というものがあった。

常日頃「勉強なんかめんどくせー」と言っていた優にとっては勉強せずに高校に転入できるチャンスだったのだ。

……、まあ「一芸」というには何らかの特技が無いと入れるはずがないが。

そんな試験を何とかクリアして優は今、この藤ヶ崎にいるという訳だ。

「とりあえず引越しも落ち着いたし、高校に挨拶に行くか。」

霧ノ宮学園についてほとんど知らなかった優。

彼が学園の真実を知るまでは、あと少し時間がかかる。

第1話 終

第1話 知らぬが仏（後書き）

第1話「知らぬが仏」をお読み頂きありがとうございました。

第2話「初めての男子生徒」掲載まで今しばらくお待ち下さい。
作者が高校生ですので何分忙しく…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5917c/>

霧ノ宮学園へようこそ！

2011年1月6日14時39分発行